



議会だより つしま

No.13

2021

9月

令和3年



私たちはこの笑顔を守ります

「対馬乗馬体験」

議会だより「つしま」発刊によせて

対馬市議会議長 初村久藏

市民の皆様には、日頃より対馬市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、対馬市議会では、市議会の活動状況等について、市民の皆様への情報提供を充実させるため、議会だより「つしま」を発行しております。

現在、CATVによる議会中継を行っており、本会議における議員活動は了知されているところではあります。常任委員会等における議員活動については市民の皆様には十分伝わっていないところでもあります。従いまして、広報紙の発行により、より議会をご理解いただけるものと考えております。

先の市議会議員一般選挙により議会広報編集特別委員会も新体制となりました。今後も市民の皆様にご愛読いただける広報紙を提供してまいりますので、様々なご意見ご要望等をお寄せいただけることを願うものであります。



つしま

- ★議員紹介……………2
- ★議会構成……………3
- ★第2回臨時会・定例会(6月)のあらまし
・委員会審査報告……………4
- ★6月定例会一般質問……………5~7
- ★意見書を国へ提出・編集後記……………8

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位380番地

TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018

E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



新しい対馬市議会がスタートしました



議長
初村 久藏



副議長
黒田 昭雄



糸瀬 雅之



陶山 荘太郎



神宮 保夫



島居 真吾



坂本 充弘



伊原 徹



入江 有紀



船越 洋一



脇本 啓喜



春田 新一



小島 徳重



小田 昭人



波田 政和



小宮 教義



上野 洋次郎



大浦 孝司



作元 義文



新しい議会の構成

【委員会】

◎ 委員長 ○ 副委員長

総務文教常任委員会

- ◎ 上野 洋次郎
- 糸瀬 雅之
- 島居 真吾
- 伊原 徹
- 小島 徳重
- 黒田 昭雄

【所管事項】

総務部 しまづくり推進部
教育委員会 消防本部 会計課
監査委員 選挙管理委員会
固定資産評価審査委員会
他の所管に属しない事項

厚生常任委員会

- ◎ 小田 昭人
- 坂本 充弘
- 神宮 保夫
- 船越 洋一
- 脇本 啓喜
- 波田 政和

【所管事項】

しまづくり推進部
市民生活部
福祉保険部
健康づくり推進部

産業建設常任委員会

- ◎ 春田 新一
- 入江 有紀
- 陶山 荘太郎
- 小宮 教義
- 大浦 孝司
- 作元 義文

【所管事項】

しまづくり推進部
観光交流商工部 農林水産部
建設部 水道部 水道局
農業委員会

議会運営委員会

- ◎ 船越 洋一
- 大浦 孝司
- 脇本 啓喜
- 春田 新一
- 小田 昭人
- 小宮 教義
- 上野 洋次郎

国境離島活性化推進 特別委員会

- ◎ 作元 義文
- 波田 政和
- 糸瀬 雅之
- 神宮 保夫
- 陶山 荘太郎
- 船越 洋一
- 小宮 教義

議会広報編集 特別委員会

- ◎ 小島 徳重
- 島居 真吾
- 陶山 荘太郎
- 入江 有紀
- 上野 洋次郎

長崎県病院企業団 議会議員

- 伊原 徹
- 脇本 啓喜

長崎県後期高齢者医療 広域連合議会議員

- 小島 徳重

対馬市監査委員

- 坂本 充弘

6月臨時会あらまし

6月臨時会は、6月10日から6月11日までの2日間の会期で開かれ、1日目は議長、副議長の選挙、常任委員の選任等が行われました。2日目は専決処分の承認を求めることについて（令和2年度一般会計補正予算、対馬市区長設置条例の一部を改正する条例等）、令和2年度対馬市一般会計継続費繰越計算書について等12件の提出議案について審議され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり承認となりました。

◎主な議案

- 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度対馬市一般会計補正予算（第16号）等、承認予算案5件）
- 専決処分の承認を求めることについて（対馬市区長設置条例の一部を改正する条例）等、承認条例改正案4件
- 令和2年度対馬市一般会計継続費繰越計算書について等、報告3件

6月定例会あらまし

6月定例会は、6月22日から7月2日までの11日間の会期で開かれ、令和3年度一般会計補正予算ほか対馬市厳原自動車教習場条例の一部を改正する条例等13件の提出議案について審議され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意となりました。

市政一般質問は8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

◎主な議案

- 令和3年度対馬市一般会計補正予算（第3号）補正予算案1件
- 対馬市厳原自動車教習場条例の一部を改

正する条例について等、条例改正案3件
 ○あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について（横浦地区）等、議決案4件

○対馬市教育委員会委員の任命について等、同意案2件

○国境離島活性化推進特別委員会の設置に関する決議等、決議案2件

委員会審査報告

議会において、提出された議案等を慎重に審査するため、所管の常任委員会に付託することができ、各委員会は、付託された議案等を詳しく審議し、議案等の可否を採決し、委員会としての意思を決定します。委員長は、審査報告書を議長に提出し、本会議において報告をします。今定例会においては次のとおり審査報告がされました。

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件（1件）

①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第3号）

◎審査内容

○総務費、衛生費、消防費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、島内3高校魅力化向上支援事業補助金、新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品費の追加、自動車心臓マッサージ器導入に係る備品購入費、防災行政無線屋外拡声施設の建替に係る工事請負費、小・中学校閉校に伴う行事等に関する補助金、対馬市成人式中止に伴う新成人の経済的負担軽減を図るための特別給付金、台風被害に遭った小鹿漁村センター屋根等の補修に係る工事請負費について審査を行いました。

厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件（1件）

①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第3号）

◎審査内容

○民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業に係る人件費及び特別給付金、放課後児童健全育成施設及び地域子育て支援拠点施設の消耗品費、海岸漂着物等地域対策推進事業に係る硬質プラスチック破砕機の購入費、佐須奈診療所の駐車場整備工事費等について審査を行いました。

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件（1件）

①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第3号）

◎審査内容

○総務費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、地籍調査測量委託料の追加、新型コロナウイルス感染症予防対策事業としてサーモグラフィーカメラ購入費、地元産品消費拡大事業補助金、構造改善加速化支援事業補助金、観光業新型コロナウイルス対策協力金、道路新設改良費の追加、博物館建設事業費の追加、災害復旧事業費の追加等について審査を行いました。

9月定例会のお知らせ

令和3年第3回定例会の日程は、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載していますのでご確認ください。

一般質問 ここが聞きたい



6月定例会一般質問 8人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは

議員が議長の許可を得て、市長等に対し、市の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質し、報告や説明を求めるものです。

一般質問を行う場合は、通告書に要旨を記入し、事前に議長に提出します。

一般質問の時間は質問と答弁を合わせて50分以内としています。

◆市職員の市民に対する対応について
(入江) 職員の対応が非常に悪いが、どのような教育をされているのか。
(市長) 職員の不適切な対応については、大変申し訳ない。今後は市民には親切丁寧に接するよう指導する。

◆70才以上の島民の自由乗り降りバス無料化について
(入江) マインナビカードによる自由乗り降りをさせることによつて、マインナビカードの申請も増えるのではないかと。
(市長) ほとんどのバス路線が赤字路線であり、70歳以上の市民を無料にすると、現在のバス路線網の維持存続が危ぶまれる状況となるため、高齢者移動費助成事業等の利用向上を図っていく。

◆上対馬病院の整形外科について
(入江) 5時から外に並んでいるが、中に入れることはできないか。
(市長) 本年4月から診療回数の改善も行われ、また、病院は外来患者だけではなく、入院患者の環境も考慮する必要があり、現状では玄関ドア開放時間の前倒しはセキュリティ上難しいとのこと。

◆仁田診療所について
(入江) 仁田診療所が1月2月全く診療せず市民が困っていたことを市長はわかっているからどうして対応されなかったのか。
(市長) コロナ感染防止対策で、医師に島外への渡航自粛をお願いしたが、年間スケジュールの関係で調整できなかった。このため、感染防止対策で1月の医師による対面診療は4日間2月は3日間となった。その他の診療日は、別室から医師が指示し診療を行った。本年度は調整の結果、ほとんどの診療日において通常診療が可能となっている。

◆阿連地区の対馬病院通院について
(入江) 阿連地区住民の対馬病院通院を通常バスに混乗できないか。
(市長) スクールバスへの混乗はできないが、阿連と今里間の路線を新設すれば、路線バスを利用することが可能となる。しかし、新規路線については多々問題があるため、早急な対応は厳しいかと思うが、検討はしていきたい。

◆選挙管理委員会委員長 対応が難しい。他市の公報も参考にして紙面構成を考えてみたい。
(小島) ビラ、ポスター、葉書の作成等に公費負担を拡充する考えはないか。

◆複式学級編制基準の改善について
(小島) 複式学級編制基準の改善について、県、国への要望を対馬市から発信すべきではないか。
(教育長) 以前から、様々な角度で県、国への要望が繰り返して行われている。

◆美津島グリーンパーク内の遊具撤去後の代替遊具の設置について
(小島) 大型遊具が撤去されると聞き及んでいける。撤去後の代替遊具の設置計画は。
(教育長) 現時点では撤去、代替遊具の設置計画はない。将来的に危険性が高まれば、補修や撤去も検討する。

◆市長、市議選挙における公費負担制度の拡充について
(小島) 選挙公報の1人当たりのスペースを拡大できないか。



入江 有紀議員



小島 徳重議員



小宮 教義議員

◆新型コロナウイルス対策について

(小宮) ワクチン接種の現状の取組について。

(市長) 本市において

は、年齢の高い方から段階的にワクチン接種を実施しており、5月6日からの高齢者施設入所者への巡回接種を皮切りに、5月10日からの医療機関での個別接種、さらに5月30日からは集団接種を開始し、まずは、希望する65歳以上の高齢者の方々の接種を7月末までに完了できるように取り組んでいる。

(小宮) 今後のワクチン接種計画について。

(市長) 6月下旬から基礎疾患を有する方への優先接種の受付を開始し、7月上旬から64歳以下の方へ接種券を年齢の高い方から順次発送する予定。ワクチン供給スケジュールなど、不透明な部分もあり、詳細な計画は現在策定中であるが、希望する全市民への接種完了目標を11月末と設定し取り組んでいく。

◆副市長二人体制について

(小宮) 副市長の選任はいつになるのか。今の状態で行くなら、ただ、ただらだと時間が無駄に過ぎるだけである。対馬市の将来を担う若い副市長に對馬市の将来をかけてみてはどうか。

(市長) 本定例会まで上程に至っていない。また、議員の提案する公募による選任は考えていない。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市内における新型コロナウイルス感染症拡大による観光飲食店等への救済措置について

(糸瀬) 対馬市のコロナ対策給付金について、

業種ごとに具体的な金額を求める。

(市長) 対馬市では今回の補正で「新型コロナウイルス感染症対策協力金」として宿泊施設1部屋2万円、レンタカー事業者1台1万5千円、飲食店は一律5万円等を考えている。その他、国の月次支援金等の助成制度も利用いただきたい。(糸瀬) 飲食店に対して給付金が多すぎると他の業種と比較し不公平さがあり、今後第5波が予測されるが福岡県、長崎市内に準じた時短要請、休業要請等の給付金を考えてもらいたい。

◆有害鳥獣対策について

(糸瀬) 対馬島内でシカ、イノシシの被害が深刻であり、地区の要望に応じて防護柵設置作業に陸上自衛隊による協力要請ができないか。

(市長) 陸上自衛隊は国の管轄のため、緊急を要する場合以外は難しい。

(糸瀬) 伊奈鳥獣保護区における捕獲者の制限の緩和措置及び保護区の解除はできないか。

(市長) 保護区域の住民の意見を聞き、環境省とも協議を行い今後の対策を考えていきたい。

◆公園整備計画について

(糸瀬) 比田勝港国内ターミナル前埋立地に新規計画の予定はないか。

(市長) 今後地域住民との協議を行い検討を行う。

(糸瀬) 佐須奈ふれあい広場の改修計画について。(教育長) 遊具施設の老朽化は点検を行い、補修が困難な遊具については撤去する方向で進めてまいります。

(糸瀬) 公園整備は子供たちの要望であり、是非、予算確保に努めてほしい。



脇本 啓喜議員

◆市民協働推進について

(脇本) 地域マネージャー制度の総括を求め

る。(市長) 地域づくり行動宣言策定等一定の成果を挙げた。職員負担が増加しており地域マネージャーの適正配置に努める。

(脇本) ご用聴きから始め、市民が行政や議員に気軽に相談できる環境をつくり、市民が小さな成功体験を積み重ねることで官民の信頼関係が生まれ、課題解決への好循環が発生する。

(脇本) 市政に市民の声を従来以上に反映できるように、議員へ議案を送付時に、市のHP等に議案を公開できないか。

(市長) 議会とも相談し、決めていきたい。

(脇本) 対馬市市民基本条例第6条第2項に「市民は市政に関する情報を知る権利を有する」と謳っている。市民の市政参画推進にもなる。市長の英断を求める。

◆島内体験型修学旅行の例年化について

(脇本) 小学生島外修学旅行と島内修学旅行を対象学年を変えての両方実施を求める通告であったが、小学校長へのヒアリング等で学校行事としての実施は負担が大き過ぎると理解した。地域で郷土学習や体験学習を提供してはどうか。学校行事としてはできないという回答であれば全て割愛くださって結構だ。

(教育長) 学校行事として両方実施するには負担が大き過ぎる。

(脇本) 島内のSDGsやESDの学びを体験型として提供可能な民間団体が、地域力に応じて関わり、児童に對馬らしい学びや体験を提供していければ素晴らしい事業になるはずだ。



大浦 孝司 議員

◆ツシマテンの有害駆除について

(大浦) 国の天然記念物に指定され、現在、非狩猟鳥獣となつている。その間、50年の歳月が流れる中、対馬で数多く生息していたコウライキジは絶滅状況下にある。昨年より放鳥が開始されているが、被害の要因の一つとしてツシマテンによるものと判断されており、指定の解除手続きを目指すものであるが意見を伺う。

(市長) 日本列島と大陸の亜種として国内では対馬のみに生息しているものであり、指定の解除は大変難しいものと思われる。

(教育長) 指定は文化財保護法によるもので市教委、県教委を経由し、文化庁で対応されるものとなる。

(大浦) 対馬猟友会で文化庁に対し、指定の解除の要望書の作成と手続きを近日中に行う。

◆学校教育における社会学習の実態について

(大浦) 対馬の急激な人口減少の大きな課題は、若者が島に帰ることが余りにも少な過ぎると思われる。義務教育において将来の対馬についてどのような社会学習を行っているか尋ねる。

(教育長) 「ふるさと学習」を実施しており、対馬の歴史や自然、文化、環境問題などを題材にした学習を行っている。

(大浦) 従来、義務教育後進学、そして本土への就職を選択するパターンが主流であったと思われるが、「ふるさと学習」を含め将来必ず対馬へ戻る方向性を一つでも多く教育することも大切なことだと思う。



船越 洋一 議員

◆対馬市の経済対策について

(船越) 韓国人観光客の皆無。また、新型コロナウイルスの感染が

日本列島を襲い、対馬の経済も大きな打撃を受けているが、今後更なる支援策が必要と思うが、

(市長) 国、県の様々な支援金も出ているが、市として6月補正を組み支援する。また、日本政策金融公庫から無担保、無保証で借入れされている方々に貸出金の据置期間の延長ができるよう日本政策金融公庫に市長として依頼する。

◆お船江について

(船越) 対馬には国、県、市の史跡文化財が202か所あるが、学芸員が不足していると思う。また、お船江広場の公園化の見直しは。

(市長) 学芸員を新たに1名文化財課に配置した。また、広場の公園化については、広場の遺構を確認しながら検討している。トイレについて必要性は十分感じているので、早期に対応したい。

(教育長) 令和2年に申請する予定だったが、令和5年度に国指定に向けて申請する予定。

◆廃園となつている豆酸幼稚園跡地(建物)の利活用について

(船越) 南部地域の振興の拠点として地元産品の有効活用ができる。施設として活用できないか。

(市長) 建物については処分制限期間が19年残っている普通財産の状況であり、諸々の制限もあるが、今後、南部地域アクションプランを策定し、施設の活用も含め南部地域の振興策を積極的に進めていく。



波田 政和 議員

◆危機管理体制について

(波田) 厳原庁舎が耐震不適格と判断され、先の議会において早い段階で取り組むとの答弁があつたが、現在の

進捗状況を再度伺う。

(市長) 厳原庁舎は、新耐震基準を下回っており防災拠点として適していない。現在、内部検討会議を設置し、庁舎建て替え工事等の対応方針を検討し、防災拠点の機能についても協議している。災害が発生し、厳原庁舎での業務ができなくなった場合、防災拠点は消防本部を予定しており、災害応急対策等を行う。

(波田) 新型コロナウイルス対策や危機管理機能の進化が問われる中でこの本市の取組について伺う。

(市長) 感染者が確認された場合、CATV等を活用し感染予防の周知啓発を行っている。新たな対応策として、県の公表基準の範囲内で県が発表した内容に追加し、情報提供できるように協議を進めている。市の最重要施策としてワクチン接種の早期接種完了に向け努力していく。

◆厳原小学校の老朽化に伴う整備計画について

(波田) 厳原小学校の老朽化対策及び市内における老朽化に伴う学校整備について伺う。

(教育長) 厳原小学校の整備については、最重要課題として認識しており、今年度、耐力度調査を実施し基本設計等を進めるよう計画している。市内の老朽化学校の整備については、長寿命化対策も一つの方法と考え、学校統合計画と施設整備の双方の観点から計画を進めていきたい。

(波田) 小中一貫校の導入などの検討ができるか。

(教育長) 大事なことだと思うが、校舎の関連もあり現段階では考えにくい。

盗難仏像の早期返還を — 意見書を国へ提出 —

平成24年10月に盗難事件に遭った観音寺の「観世音菩薩坐像」について、韓国政府に対し、早期返還を強く求めるよう国に要望するため、令和3年7月2日の定例会本会議において意見書の提出を採択・可決し、内閣総理大臣をはじめとする関係閣僚へ提出しました。

意見書の内容

平成24年10月に対馬市で盗難被害にあった、長崎県指定有形文化財、対馬市豊玉町小綱・観音寺の仏像「観世音菩薩坐像」については、平成29年1月26日、韓国大田地裁において「韓国政府に対し、仏像を韓国の寺（浮石寺）へ引き渡すよう命じる」判決が下され、韓国政府はこれを即日控訴し、仏像の寺への引き渡しは差し止められました。

この地裁判決は、日韓両国が批准するユネスコ条約に反し、不法であることは明白であり、到底受け入れられるものではなく、強い憤りを覚えます。

対馬の先人が古の時代から大陸との交流の窓口となり、現代においても日韓両国の民間団体による共同申請の結果、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」へ登録されたことをはじめとして、朝鮮通信使に関する取組みなどにおいて、政治情勢に左右されることなく、韓国側と協力して推進してきました。

盗難事件発生から9年目を迎え、未だに返還への道筋が見えない状況にあり、このような事件で両国間で受け継がれた誠信交隣の関係が損なわれてはなりません。

よって、国においては、韓国政府に対し、盗難に遭った仏像の早急なる返還を求めていただくよう強く要望します。

編集後記

5月の市議会議員一般選挙により、19名の議員が誕生し、6月10日、11日臨時議会が開催され、議会構成が決定しました。

議会広報編集特別委員会は、これまでの4名から1名増の5名の委員で構成されることになりました。前議会からの再任者は1名で4名は新しい委員です。

過去3年間に発行した12号までの基本的な編集方針や構成は保ちつつ、新しい視点での見直しも必要です。

対馬市議会基本条例には、市民の情報公開と情報の共有が規定されています。議会だよりの重要性をしっかりと認識し、委員会活動を推進していきます。

「情報共有」の面から、議会からの情報提示だけでなく、市民の皆さんの御意見や要望等も取り上げていく必要があります。

市民の皆様と議会の橋渡し役として、読みやすく、分かりやすい紙面づくりを目指します。皆様方の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

(文責：小島徳重)



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島徳重 【副委員長】島居真吾
【委員】陶山荘太郎・入江有紀・上野洋次郎